

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(耐震性についての計算書:ドライウエル他)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/3/2	NS2-添2-009-02	耐震(計算書)(VI-2-9-2-1)	VI-2-9-2-1ドライウエルの耐震性についての計算書	P.19	「表5-1 許容応力状態ⅢASIに対する評価結果(D+P+M+Sd*)」等に示される座屈の荷重の組み合わせが「一」である理由を説明すること。	2022/12/7	座屈評価ではSdとSsで共通の条件を適用するため、荷重の組合せを「一」と記載していましたが、条件の明確化のため考慮する荷重の組合せを記載しました。	NS2-添2-009-02改01「VI-2-9-2-1ドライウエルの耐震性についての計算書」P.21～23,25,26	
2	2022/3/16	NS2-添2-009-02	耐震(計算書)(VI-2-9-2-1)	VI-2-9-2-1ドライウエルの耐震性についての計算書	P.12	燃料交換時の鉛直方向地震荷重の算出方法を説明すること。	2022/12/7	燃料交換時の荷重の算出方法について記載を追加しました。	NS2-添2-009-02改01「VI-2-9-2-1ドライウエルの耐震性についての計算書」P.12	
3	2022/3/16	NS2-添2-009-02	耐震(計算書)(VI-2-9-2-1)	VI-2-9-2-1ドライウエルの耐震性についての計算書	P.12	水平方向地震荷重について、座屈評価に用いる荷重を個別に設定している理由を説明すること。	2022/12/7	座屈評価では座屈評価以外に適用した荷重条件から保守性を見直した荷重を用いて評価を行っているため、個別に荷重を設定しています。また、座屈評価に適用する荷重を含め、荷重は保守的に設定した設計荷重であることが分かるよう適正化しました。	NS2-添2-009-02改01「VI-2-9-2-1ドライウエルの耐震性についての計算書」P.12,17	
4	2022/3/16	NS2-添2-009-02	耐震(計算書)(VI-2-9-2-1)	VI-2-9-2-1ドライウエルの耐震性についての計算書	P.16	座屈評価に用いる地震荷重算出の際に適用した組合せ係数法について、組み合わせる荷重の方向、水平方向と鉛直方向の組合せ係数及び自重の取扱いを説明すること。	2022/12/7	座屈評価における水平方向及び鉛直方向の動的地震荷重について、組合せ係数法の適用方法を記載しました。また、軸圧縮荷重における組合せ係数法の適用方法について記載しました。	NS2-添2-009-02改01「VI-2-9-2-1ドライウエルの耐震性についての計算書」P.17	
5	2022/3/16	NS2-添2-009-07	耐震(計算書)(VI-2-9-2-6)	VI-2-9-2-6 機器搬入口の耐震性についての計算書	P.7(ハッチ類共通)	理論式により固有値を算出する方法の詳細を説明すること。	2022/12/7	固有周期の計算方法について記載を追加しました。	NS2-添2-009-07改01「VI-2-9-2-6 機器搬入口の耐震性についての計算書」P.9～13	
6	2022/12/7	NS2-添2-009-07改01	耐震(計算書)(VI-2-9-2-6)	VI-2-9-2-6 機器搬入口の耐震性についての計算書	P.10	KSR等について、算出方法を説明すること。	2023/3/15	バイラード法を用いたばね定数の算出方法について説明を追加しました。	NS2-添2-009-07改02「VI-2-9-2-6 機器搬入口の耐震性についての計算書」P.10,11 他	コメント移動

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(耐震性についての計算書:ドライウェル他)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～141については、NS2-他-250改02で整理済みのため省略。						
142	NS2-補-027-10-26改02	クラスMC容器における一次+二次+ピーク応力強さの評価について	表紙	資料の内容を踏まえたタイトルに見直しました。	2023/4/21	
143	NS2-補-027-10-26改02	クラスMC容器における一次+二次+ピーク応力強さの評価について	P.1	「整理」の意味を明確にするため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)本書は原子炉格納容器の一次+二次+ピーク応力強さの評価の取扱いについて整理し、これらの箇所に対して一次+二次+ピーク応力強さの評価を不要であるとしている理由を整理したものである。 (新)本書は原子炉格納容器の一次+二次+ピーク応力強さの評価の取扱いについて示し、これらの箇所に対して一次+二次+ピーク応力強さの評価を不要であるとしている理由を説明するものである。	2023/4/21	